

# 西宮市議会だより

Nishinomiya city assembly news



12月定例会  
第142号

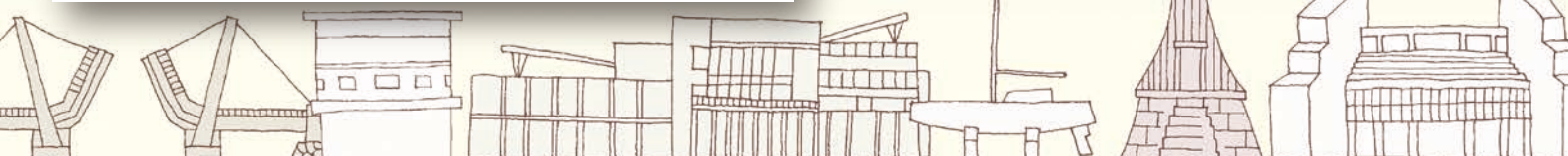
## TOPICS

▶ バーチャル市議会 ～関学編～ を開催しました



## CONTENTS

- 12月定例会の主な内容、審議日程、請願、議員の辞職、委員の辞任・選任、表紙写真の募集など……………2
- 一般質問……………3～8
- 委員会の活動状況……………9～10
- 3月定例会の開催予定……………10
- 議案等審議結果一覧表……………11
- バーチャル市議会 ～関学編～ を開催しました ……12





# 12月定例会

## 主な内容

12月定例会の主な内容をお知らせします。全ての議案等の審議結果はP11をご覧ください。



### 主な審議日程

11月	
29(金)	本会議 提案説明など
12月	
5(木)	
6(金)	本会議 一般質問 (19人)
9(月)	
10(火)	本会議 一般質問 (1人)、質疑、委員会付託など
12(木)	常任委員会 (総務、健康福祉、教育子ども)
13(金)	常任委員会 (民生、建設)
16(月)	常任委員会 (民生)
18(水)	常任委員会 (総務) 本会議 委員長報告、討論、採決

### 条例 (市長提出)

可決

#### 公共施設の使用料を改定する

#### 条例17件、賛成多数で可決

前回の9月定例会で、市内各施設の使用料を改定する条例案(市民交流センター条例の一部改正など17件)が提案されましたが、9月定例会では可否を決めず、議論を継続していました。12月定例会では、審議の結果、これらの条例案は賛成多数で可決されました。

### 意見書

可決

#### 緊急防災・減災事業債の対象期間延長を求める意見書が可決

災害時に避難所となる学校体育館への空調整備は避難所の生活環境の維持等に不可欠です。本市でも緊急防災・減災事業債を財源に、市立中学校全20校の体育館の空調を整備する方針ですが、予定どおり令和2年度に事業債が終了すれば、市立小学校体育館の空調整備に時間がかかる恐れがあります。そこで、引き続き防災・減災対策に取り組めるよう3年度以降も延長するよう国に要望するものです。

### 意見書

可決

#### 加齢性難聴者の補聴器購入補助制度創設を求める意見書が可決

加齢性難聴は生活の質を落とす原因であり、鬱や認知症の危険因子になることも指摘されています。また、高齢化率の上昇で難聴者の増加も予測されます。日本では補聴器の所有率が公的補助制度のある欧米諸国の半分以下といわれており、さらなる普及が求められます。そこで、加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度の創設を国に要望するものです。

#### 所管事務調査(健康福祉常任委員会)

#### 「高齢者交通助成事業」について

この事業は高齢者の外出を促し健康保持等を図るため、各交通機関における対象商品の半額を助成するものです。一方、半額助成による利用方法の複雑さや鉄道会社の窓口負担の増加など改善への要望が寄せられています。そこで、市は全額助成への変更やコンビニエンスストアでの取り扱いなども検討し、令和2年度には方針を打ち出したい考えです。

### 請願

▽指定難病医療費助成制度で「軽症」とされた難病患者に対する国への意見書提出を求める請願 **不採択**  
▽西宮市に気候非常事態宣言を求める請願 **不採択**

### 議員の辞職

■ 谷本豊議員(維新の会)が、令和2年1月20日付で市議会議員を辞職されました。この結果、市議会議員の現員数は40人になりました。

### 議会運営委員の

#### 辞任・選任

令和2年1月27日付で、川村よしと議員が議会運営委員を辞任され、新たにうえだあつし議員が選任されました。

## 表紙の写真を募集!!

**テーマ** 西宮市内の魅力を紹介できる写真(春~夏の写真歓迎)

**締切** 令和2年3月31日(火)まで

**提出物** ①プリント(2Lサイズ)またはメディア(JPG形式、CD-R・DVD-R)  
②タイトル、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、撮影場所、撮影日を明記したもの

**応募方法** 上記①と②を下記提出先まで郵送または持参

**提出先** 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号

「西宮市議会事務局」宛

**選考** 広報委員会

**注意事項**

- ・縦・横どちらでも可
- ・未発表・オリジナル作品限定。人物が特定できる場合は、ご本人の了承を得てください。
- ・採用発表は誌面で行います。採用時には、タイトル、氏名、住所(町名)を掲載します。
- ・誌面の都合上、掲載できないこともあります。また、応募作品は返却しません。
- ・採用された方には粗品を進呈します。



表紙写真…「震災の刻」 多治見 寛之さん(梁殿町在住)

応募作品の中から、広報委員会でこの作品が選ばれました。

# 一般質問

20人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。質問の一部をご紹介します。

一色 風子 無所属

市内産野菜のブランド強化について

問 地産地消を進める学校給食においても、減農薬などの野菜を希望する市民ニーズに応えるため、市内産野菜の供給量を増やし、そのブランド化を強化できるような独自の補助制度の創設などをしてはどうか。

答 農業者・新規就農者への支援には関係機関との連携を強化し既存の補助金の拡充も検討する。西宮産農産物の認知度向上には既存の補助金でのPR支援等を継続しロゴマーク等の作製も検討する。また、学校給食における地産地消の取り組みのさらなる促進のため農業者等への支援を続ける。今後、新卸売市場の開設に合わせ、発信力を高める取り組みを研究していく。

不登校児童生徒の出席扱いについて

問 既存のあすなるWebを

利用することで出席扱いにすることは可能か。

答 あすなるWebは、基礎的な学力を身に付け社会的自立を目指すもので、個々のレベルに合わせた学習ができる。文部科学省が定めるICTなどによる学習活動の指導要録上の出欠の要件は、児童・生徒が学校外の公的機関等において相談指導を受けられない場合の学習活動で、訪問等の対面指導により十分に状況を把握することなどである。これらを満たせば出席として取り扱うことができる。(質問時間52分)



草加 智清 ぜんしん

兵庫医科大学病院方面へ向かう小曾根線新バス路線について

問 兵庫医科大学病院方面へ向かうバス路線の開設については、阪神本線南側側道等の沿線

住民の理解が不可欠である。沿線住民との協議の結果は。

答 協議の結果、側道の一方通行規制を条件におおむね理解が得られたことから、地元自治会が一方通行規制の要望書を10月下旬に甲子園警察署へ提出した。今後、阪神バスと協力し、規制実施後、速やかにバス路線が開設できるよう努める。

新中央体育館 武道館の整備について

問 中央体育館の建て替えに伴い、既存の武道館も解体される予定だ。現時点の施設計画では新中央体育館内に武道場が設置されることが想定されている。しかし、施設の動線や市民の利便性、また、阪神・淡路大震災を経験した市として、災害時の地域防災拠点や避難所としての機能の充実のため、要求水準の中で「体育館と武道館の立地は明確に別棟にする」と方針づけるべきではないか。市の見解は。

答 武道館を別棟とすると建ぺい率等をクリアできない恐れがある。一方、市の要求水準書は合築を前提としておらず、よりよい提案があれば、別棟でも積極的に採用したい。合築とな

る場合でも、別棟と同様の運用が可能な提案が事業者から出されるよう要求水準書を作成する。(質問時間48分)



武道館

八木 米太郎 ぜんしん

組織の再編・整備について

問 今回提案されている組織の再編・整備は第5次総合計画実現のために必要不可欠なものかどうか、市の考えを聞きたい。

答 本計画では厳しい財政状況を予測する一方、土地利用の方向性など将来の都市構造を示している。これらの課題等を踏まえ政策立案力と財務体質を強化し、持続可能な地域社会実現に向け体制整備するものである。

名塩道路整備について

問 名塩道路整備の進捗状況

について聞きたい。

答 先月、市長が上京し令和7年までに全線開通するよう国に要望した。西宝橋工事は令和2年12月ごろから仮橋に切り替え、5年度末に完成予定。名塩地区の4車線化延伸は近日中に供用開始。城山トンネルは令和2年1月から掘削工事に着手し、3年3月ごろ完成予定。東久保地区の用地買収は面積割合で65%の進捗率(11月末現在)。今後も国に働きかけつつ、積極的に地元調整にも協力していく。

その他の質問 総合計画と事務執行について(要望)の取扱い方、教育行政について(1)教育大綱の見直し、(2)社会教育行政の行方と「教育委員会制度」、(3)学校教育充実に向けての授業時間の確保、地域課題について(医療圏域境界地域における医療体制)

(質問時間46分)

松山 かつのり 公明党

家庭系の指定ごみ袋 導入へのスケジュールは

問 本市の家庭系指定ごみ袋の導入スケジュールは。 答 指定ごみ袋の導入には三



**人工内耳**  
電池や充電器に助成を  
人工内耳の電池及び充電



総合福祉センター

つの手法があり、現在具体的な検討作業中である。パブリックコメントや条例改正、市民への周知のほか、市指定のデザインの場合は、製造から販売に至る期間も必要となるため、最短でも令和4年度以降になる見込み。

**問** 西宮市総合福祉センターの駐車場確保に係る市の考えは

**答** センター東側にある福祉会館が老朽化のため来年度中に解体を予定しており、解体後の跡地を活用して駐車区画を増やしたいと考えている。できる限り多くの駐車区画を確保できるように、指定管理者である社会福祉協議会と協議していく。

**総合福祉センターの**  
駐車場について

**問** 1年にわたり、市職員の不祥事が発生するたび、市長は謝罪や説明をされているが、犯罪防止の具体的対策は何か。

**答** 公共工事の不正行為や再発防止に向けた入札制度改革の報告を取りまとめたほか、公金処理の事務処理適正化に向けた緊急点検や職員への意識調査など、全庁を挙げた取り組みを継続的かつ繰り返し働きかけていく。今後は毎年度の人事評価面談時に不祥事防止のチェックポイントを職員間で確認するなど、

**市職員の犯罪防止について**

やの 正史

政新会

池・充電器の購入費用について、近隣市のように助成すべきと考えるが市の考えは。

**答** 本市では人工内耳の体外部装置の購入費を助成している。電池等を助成対象に加えることについては人工内耳装用者の金銭的な負担が大きいかことや電池等を助成対象としている自治体が増えていることから、神戸市など既に助成を行っている自治体の状況を参考に検討を進める。

(質問時間46分)



(質問時間38分)

日常的な取り組みを進める。

**問** 野良猫の糞尿の被害を訴える市民の声をよく聞くが、対応策は何か。

**答** 平成20年度から所有者のいない猫不妊手術助成金制度を開始し地域猫活動の支援を進めてきた。人と動物が共生していく社会の実現のため、活動指針を作成し、助成金を活用する活動員には不妊手術の実施のほか、他の模範となるようルール順守をお願いし、市民への啓発も実施する。さらに糞尿被害でお困りの方には忌避剤の無料配付等を行い、無責任な餌やり者に対して個別の注意喚起や啓発看板の配布等を行う。また、昨年度は全自治会に啓発チラシを配布した。今後も注意喚起のほか市政ニュース等で啓発していく。

野良猫の糞尿対策は

**問** 来年、障害者に関する条例の冊子作成について

障害に関する条例の冊子作成について

田中 あきよ 無所属

**問** 性的少数者の生徒が声を上げづらい環境にあり、また、制服の素材や機能性が合わない生徒もいる。市内の中学校に関して制服選択の自由を保障することを要望するが、市の考えは。

**答** 被服類の選定は各学校の選定委員会で見直し等を協議しており、制服選択に限らず学校間でも情報共有し、現状の見直しに生かすよう努めている。

**問** 子どもの自尊心の低さと自殺率の高さから、CAPプログラム(子どもへの暴力防止プログラム)など具体的な予防策を取り入れ、子どもを取り巻く危険から守るべきではないか。

**答** 自尊心を高めることは人権教育の柱であり、全教育活動で取り組んでいる。子どもの内なる力を活性化するプログラムの導入について研究を進める。

自分を大切にするためのプログラムの導入について

山田 ますと 公明党

**問** 既存産業への支援のあり方、新たな産業を誘致する場合の体制づくり等について整理する必要がある。森永乳業近畿工場跡地について、市の考えは。

**答** 地域経済の活性化や雇用確保の観点から産業ゾーンを維持するため、周辺産業環境と調和した跡地利用の計画が望ましいと考えている。

森永乳業近畿工場跡地について

中学校の制服選択について

**問** 阪神西宮駅周辺整備は、県立病院移転後の土地利用や阪神電鉄、大阪ガス所有の土地活用など、本庁舎周辺整備と一体

阪神西宮駅周辺の魅力的なまちづくり

例制定の際には、軽度の知的障害の方にも分かりやすい冊子を当事者との協同で作成し、さらに広く周知することを要望するがいかがか。

**答** 条例制定の際には具体例などを示したパンフレットを作成する予定で、作成に当たっては必要に応じ当事者の意見もいただき、広く周知に努めていく。

山田 ますと 公明党

条例制定の際には具体例などを示したパンフレットを作成する予定で、作成に当たっては必要に応じ当事者の意見もいただき、広く周知に努めていく。



的に取り組むことで、西宮北口駅周辺に続く本市の顔となる魅力的なまちづくりが進むと考えますが、市の考えを聞きたい。

【答】 阪神電鉄や大阪ガスとも連携し、魅力的なまちづくりに取り組む。なお、本庁舎周辺の公共施設の再編整備とは、一連のまちづくりとして取り組む。



阪神西宮駅

市制100周年に向けて

【問】 市制100周年を目指し、市民と事業者は共に都市経営に取り組みパートナーとして、また主体者として、まちづくりを考える仕掛けが必要ではないか。

【答】 市制100周年に向けてさらに魅力ある、また、誇りと思っただけの西宮としていくため、市民、事業者の皆様と共にまちづくりを進めていく。

(質問時間54分)

花岡 ゆたか 市民ク改革

契約事務について

【問】 一つの工事を50万円未満になるよう分割し、各所管課で契約するべきではないと考えるがどうか。

【答】 理由なく故意に分割することは適正でないが所管課契約した案件には緊急性の高い事業等もあった。今後も適正な事務執行に向け関係部局と協議する。

友好都市との交流事業について

【問】 友好都市である奄美市との交流事業は平成30年度に1回行われたが、その1回で終わってしまった。奄美市や梶原町との交流事業は、秘書課の交流チームがしっかりと担うべきではないか。

【答】 友好都市との交流は市民や地域団体と盛り上げていく必要があるため、市政ニュースや市のホームページで紹介するなど魅力を伝えるよう取り組む。

市職員の勤務時間内禁煙について

【問】 地方公務員法の第35条に規定されている「職務専念義

務」と、市職員間の不公平感の観点から、市職員を勤務時間内禁煙にするべきではないか。

【答】 勤務時間中の長時間離席等は指導対象となる旨を通知し、必要な対応に努めるよう指示した。禁煙への取り組みと受動喫煙防止を進めるため、職員に喫煙状況と受動喫煙に関する意識調査を行い環境整備に努める。

(質問時間64分)

田中 正剛 政新会

訪問型家庭教育支援チームの設置について

【問】 学校と連携した「訪問型家庭教育支援チーム」を設置し、不登校だけでなく課題を抱える家庭を専門の支援員が訪問し、助言・支援をすべきではないか。

【答】 個々の家庭に入り込む難しさ等から現段階での設置は困難。アウトリーチ型家庭教育講座等の取り組みを進め関係部署と連携し迷いや悩みを抱えた保護者に寄り添う支援を検討する。

エアコンのある体育館地域に開放し有効活用を

【問】 特に夏場、来年度エアコンが設置される予定の中学校体育館が未利用となる時間帯には、

スポーツクラブ21などの団体にも開放し、公共資産を有効活用すべきと考えるがどうか。

【答】 中学校の体育施設については利用上等の課題がない学校を対象に地域開放を進めている。今後も学校教育に影響のない範囲で事業の拡大に取り組む。

工事請負以外の入札も不正防止の対策を

【問】 委託や物品購入など工事請負以外の入札についても、官製談合など不正の未然防止のために実態を調査し、対策を講じる必要はないのか。

【答】 今後公共工事の入札への対策を参考に、どのような対策を講じるべきか調査・研究する。多様な委託がある中で一律の基準は作れないが、状況を調べ検討し、早期に結論を出したい。

(質問時間66分)

ひぐち 光冬 日本共産党

ヘルプマークの周知について

【問】 見た目では障害があるとわからない方が身に付けるヘルプマークの周知が十分とは言えない。さらなる周知として、医療機関や学校園でも周知してい

くべきと考えるが、市の見解は。 【答】 公共交通機関や福祉事業所への広報に加え、学校園等にもポスター掲示を依頼している。今後も医療機関等さらに多くの人に周知できる方法を検討する。



ヘルプマーク

教職員間のハラスメントの実態調査について

【問】 神戸市の東須磨小で深刻な教職員間のハラスメント事件が起きた。本市で同様のことが起きぬよう、まずは実態調査をすべきと考えるが、市の見解は。 【答】 教職員が校長や教育委員会に提言できる制度を毎年実施し、かなり浸透している。そのため現時点ではハラスメントに特化した調査を行う考えはない。

不登校支援について

【問】 不登校児童生徒にとって「学校復帰」を促されるのはつらい。よって、あすなる学級の目的として「学校復帰」を前提とするのはやめるべきと考える





が、市の見解は。

問 10月の文科省通知で適応指導教室の設置目的が「社会的自立に資する」となった。本市ではこれまで登校を強要するような指導はしていないが、今後通知に合わせ対応を図っていく。

(質問時間52分)

松田 茂

公明党

障害者紙おむつ

給付事業について

問 自力でトイレに行くことができて、尿意や便意の意思表示との連動ができれば、正しく排泄できない。西宮市障害者紙おむつ給付事業実施要領の所定要件は、非常に厳しい条件だが「要件の見直し」について聞きたい。

答 近隣自治体も本市とほぼ同様の要件だが、自力でトイレに行くことができず、かつ、自力で便座に座ることができないという要件のある自治体は少数である。今後、より適切な要件になるよう検討していく。

子ども未来センターについて

問 初診待機期間の短縮について、医師会と連携しながら役

割分担について協議・検討を行ったのか。

答 西宮市医師会と発達障害診療の医療機関連携について協議しており、センターと地域の医療機関との役割分担について検討を行っている。

文化芸術について

問 子どもたちの豊かな心を育む「アウトリーチ事業」の取り組みについて聞きたい。

答 平成27年度から小・中学校にアーティストを派遣するアウトリーチ事業を実施している。今後も多くの子どもたちが文化芸術を体験し心豊かな育ちができるよう事業拡充に努めていく。

(質問時間39分)

脇田 のりかず 維新の会

地域コミュニティ活性化と市民集会所施設の稼働率向上

問 全世代を巻き込んだ地域コミュニティを作ることは、地域住民の結束を強化し、その拠点となる公民館の活性化につながり、結果的に稼働率向上という効果をもたらすと考えるが、市の考えは。

答 公民館や市民館などの施設は、気軽に地域活動に参加できる身近な存在となることが重要。今後も、どのような講座や活動が幅広い年齢層の利用を促すのか、運営協議会など意見交換を行いつつ支援を検討する。



住民参加による協働のまちづくり

問 不特定多数の住民がゼロから政策策定に参加できる場を作るべきだと思いが、市の考えは。

答 これまでも、パブリックコメントや審議会等への公募市民の参加、ワークショップなどを実施している。今後、先進市の事例も参考にしながら、市民参画の取り組みを進めていく。

期日前投票における本人確認について

問 期日前投票は全国でなりすましや二重投票が起きている。本人確認の方法を見直すべきではないか。

答 本人確認の厳格化は、公正な選挙執行の観点から必要性は認識しているが、選挙人の利便性にも配慮する必要があるため、今後研究していく。

(質問時間59分)

岩下 彰

市民フ改革

甲子園段上線について

問 樋ノ口地区の区画整理事業に甲子園段上線が取り上げられた。この地区において初めてのことであり、今後どのように対応していくのか。

答 土地区画整理準備組合の設立に合わせ、市は令和元年10月に当該事業の都市計画を決定。今後その推進に取り組む。また、甲東瓦木地区の未整備区間でも事業化への検討を積極的に行う。

名神湾岸連絡線について

問 大阪湾岸道路西伸部の事業が進んでおり、名神湾岸連絡線は今後どうなるのか。

答 県の公聴会を経て都市計画案の公告・縦覧等を行い、早ければ令和2年度末に都市計画を決定し、国が進める環境影響評価も同時期に完了する予定。

安全・安心な食について

問 豚コレラ(CSF)について平成30年12月に取り上げた時は1県のみ発生だったが現在は多数に広がっている。ワクチン接種も行われ、その肉は店頭に並んでいるが今後の対策は。

答 市食肉センターでは汚染防止対策を講じ11月からワクチン接種豚を受け入れている。豚コレラは人には感染しないが、搬入された全ての豚を検査しており今後も厳格に検査していく。▼その他の質問 商業、災害、中央体育館、教育 (質問時間50分)



澁谷 祐介

ぜんしん

職員採用試験

抜本的な見直しを

問 本市の職員採用試験は、必要な人手と手間に比べて効果が小さい。また、試験の客観性・公平性の担保という観点からも問題がある。試験のあり方を抜

本的に見直すべきと考えるが、市の見解はどうか。

答 採用試験といえども効率的・効果的執行の観点から常に見直す必要があることから、業務負担軽減と優秀な人材確保の実現のため改善を図っている。全員面接についても業務負担軽減の視点も踏まえ再検討したい。



西宮商工会館の  
建て替えについて

問 本年9月、西宮商工会議所が活動拠点である西宮商工会館の建て替え計画を明らかにしたが、計画の基となる収支予想に多くの問題がある。計画では、商工会議所自身が解体・建設費用を負担することとなっているため、このままでは将来、商工会議所が過大な負担を抱え、本市の産業振興施策に深刻な影響を及ぼすことも懸念される。そのようなことにならないよう、

市は計画見直しに関与すべきと考えるが、市の見解はどうか。

答 商工会議所の収支予測と過去5年間の平均との間に差があり、会費収入の予測にも再考の余地がある。算定根拠がより精緻なものとなるよう求め、将来にわたって安定経営ができるよう商工会議所と協議していく。(質問時間54分)

大原 智 公明党

地域包括支援センターの  
体制強化を

問 地域包括支援センターの体制を国が示すとおり「高齢者人口1500人に1名の専門職配置」に強化すべきでは。

答 国の評価指標を満たすためには増員に必要な事業費確保の他、実際に専門職を雇用し配置する法人での人材確保・養成に相應の期間が必要となるため、段階的増員になると考えている。

図書館の組織と  
運営体制の見直しについて

問 今後の図書館の組織および運営体制の見直しはどうか。  
答 順次定型業務の効率化を図りつつ司書を中央図書館へ重点的に集めるなど、指摘のとおり

り中央館として機能強化するよう運営体制の見直しを進めている。今後は司書がこれまで以上に地域や学校に向き、きめ細やかなサービスを提供していく。



中央図書館

ボランティア同士を  
つなぐ取り組みについて

問 動物の命を守るために、個々で活動されているボランティア同士をつなぐ取り組みを市が積極的にすべきでは。

答 個人で対応困難な事例では市がボランティア同士を紹介し連携して対応いただくことで相談解決に協力いただいている。今後も個々のボランティアの活動範囲内で負担なく活動できるように市が積極的にボランティア同士の連携に努め、活動員同士の情報交換の機会も設けていく。(質問時間59分)

佐藤 みち子 日本共産党

名神湾岸連絡線について

問 8月29日に開催された都市計画審議会で「名神湾岸連絡線」のルートが明らかになった。種別は自動車専用道路で、起点を今津社前町、終点を西宮浜1丁目とする延長約2kmの都市計画道路である。(仮称)西宮ジャンクション・インターは現在の高さは16mだが、名神湾岸連絡線が完成すると28mにもなり、ビルの9階に匹敵する高さになる。住民説明会では「将来的に交通量が減少する見込みなのに新たな道路を整備する必要があるのか」「大阪湾岸西伸部が整備され、その効果を確認してから名神湾岸連絡線の必要性を判断すればよい」など、不安の声が多数出された。近隣住民にとっては、工事中、さらに道路ができた後も、騒音、振動、大気汚染の悪化等、日々の暮らしに影響することになり環境に配慮したとしても全てを取り除くことは困難である。このような市街地に高架式道路を作ることには無謀である。市民の声をしっかり

り聞いて、道路建設を中止するよう国および県に求めるべきではないか。

答 大阪湾岸道路西伸部に遅れることなく名神湾岸連絡線を整備することは、内陸部と臨海部を結ぶ路線の沿道環境や交通安全面から必要と考える。今後地域からの声を聴き、国や県と協力し、丁寧に事業を進めていく。(質問時間52分)

福井 浄 維新の会

リサイクルに関する  
方向性について

問 その他プラのリサイクルは地球環境のため多額の税を投入して行っているが、給食の牛乳パックのリサイクルは限られた税を子どもに活用するため廃止した。どちらが本市の方向か。

答 今後は地球環境を守っていくという方向性に資するため、市長部局でイニシアチブを取り、資源の有効回収の方向に努めていきたい。

組立体操での  
重傷事故の報告について

問 今年の組立体操では骨折が9件起きた。再発防止を目的に報告される重傷事故(30日以



上の治療を要する傷病)の基準は体育への出席など不明確。明確なガイドラインを作成しては。

**答** 今後、けがの発生状況の分析を行い、再発防止につながる報告を行う。けがの報告の基準については、他市の例も参考にし、判断基準を作成していく。



**道路の安全対策について**

**問** 道路の安全対策として、事故が多発する場所や通園通学路に、車を減速させるための軽い坂(ハンプ)や視覚的に減速させるイメージハンプ等を導入してはどうか。

**答** イメージハンプは効果が不明確。ハンプは騒音や振動の課題があるが、速度抑制の必要性が高い箇所、地元の理解などの条件を整えば検討したい。

(質問時間67分)

よつや 薫

無所属

**パートナーシップ宣誓制度の実施について**

**問** LGBT等の性的マイノリティー支援の一つとして、宝塚市等で行われているパートナーシップ宣誓制度を本市でも実施すべきではないか。

**答** 社会的制約の緩和のほか、差別・偏見の解消、社会的理解などを促進する上で意義ある制度である。先進市の事例を調査し、今後、導入を目指していく。

**同性パートナーの市営住宅への入居について**

**問** パートナーシップ宣誓制度を実施した場合、市営住宅に同性同士のパートナーとの入居が可能となるか。

**答** 現段階では条例の規定に該当しないため、入居資格がなく申し込みできない。制度が実施された場合には、他市の状況も参考に検討していく。

(質問時間23分)

吉井 竜一

政新会

**学校問題におけるSNS等の活用について**

**問** 近年、スマートフォンの

普及に伴い、若年層の多くがSNSをコミュニケーション手段として活用している。また、インターネットやSNSを通じたいじめは増加しており、子どもたちが抱える悩みはますます多様化している。また、コミュニケーションの手段や家族構成など子どもたちを取り巻く周辺環境も大きく変化している。これらに対し「対策はその変化に追いついていない」、「問題が深刻化する前に拾いきれていない」ではないか、そのような思いから質問する。本市のいじめ相談についての取り組みとしては、主に教育委員会が平日9時から5時半まで設置している「いじめ相談専用ダイヤル」が挙げられるが、特に子どもにとってはイメージからしても電話にまで踏み出すのは、少々ハードルが高いものと考えられる。今後その対策として、より手軽に相談できるLINEなどSNSの活用が有効かと思われるが、そのような仕組みは考えているのか。市の考えを聞く。

**答** 本市にはSNSなどを活用して相談できる独自の仕組みは現在ないが、県の教育委員会

により令和元年度から通年で実施されている「ひょうごっ子SNS悩み相談」の取り組みを注視しながら、その効果や課題について研究していく。

(質問時間61分)



**かみたに ゆみ** 政新会

**認知症初期集中支援事業について**

**問** 今後、訪問・相談の需要増加が見込まれる。人員の増加や拠点の増設が必要ではないか。

**答** 今後の支援要請への対応のため本市の支援チームにどのような職種、人員が必要か、また効率的な訪問支援の観点からチーム数増を検討していきたい。

**統合新病院について**

**問** 市が用地取得費、建物整備費、機器購入費そして運営費を負担するに当たり、広く市民に有益な病院となるよう救急機能向上が期待できる救急ワーク

ステーションを設置する考えは。

**答** 救急ワークステーションは救急隊員の知識等を効率的に高め、増大する救急需要対策にも有用。しかし本市は統合新病院に多額の費用が必要で、ステーション設置に更に多くの費用が生じる場合は設置困難である。

**骨粗しょう症検診について**

**問** 若い頃から骨粗しょう症に係る啓発と早期の治療介入ができるよう無料クーポンの導入や医療機関での精密検査を促す取り組みについて、市の考えは。

**答** 今後、受診結果が要精密検査となった方の精密検査を促す取り組みの早期実施に努める。また、受診率向上に向け無料クーポン配付も効果があるため、予算の確保等の課題はあるが、今後実施について検討していく。

(質問時間52分)





# 委員会の活動状況



## 総務 常任委員会

長篠原 正寛 副たかのしん  
 澁谷 祐介 中尾 孝夫  
 野口あけみ 福井 浄  
 やの 正史 山田ますと

施策研究テーマ「西宮市行政  
 経営改革について」引き続き精  
 力的に議論・研究しています。

まず、市が発表した行政経営  
 改革基本方針に対する意見要望  
 や、3月に発表される実行計画  
 の数値化に対する意見、既存事  
 業見直しへのアイデア提供につ  
 いて意見を持ち寄り毎回議論。  
 さらに市の基本方針が示す23の  
 小項目の中から各委員が5項目  
 を選び、その項目はどうあるべ  
 きか、具体的に何ができるかに  
 ついて意見を出す、要するに実  
 行計画の先取りを行い、最終的  
 に提言としてまとめるまではい  
 つでも自由に加筆修正できる、

というやり方で進めています。

当局いわく、行政経営改革は  
 過去の一般的に行革と違い、  
 必ずしも歳出(市の支出)の抑  
 制や圧縮を目的としないそうで  
 す。ダイエットに例えれば激し  
 い運動や食事を減らしたりして  
 体重を落とすのではなく、体質  
 改善によって健康体になるとい  
 うことです。「持続可能な」とい  
 う意味でこれを否定するものでは  
 ありませんが、「体質は改善し  
 たが体重は全く減らない」とい  
 う結果もまた、これから続く超  
 高齢社会に向けて許されません  
 このあたり、時には市当局を励  
 まし、時には叱咤し、改革の成  
 功に助力してまいります。

### ■管外視察(10/30〜11/1)

公共サービス民営化制度(我  
 孫子市)、RPA(葛飾区)、自  
 治体間ベンチマーキング(町田  
 市)、Society5.0(つ  
 くば市)、行政経営改革の取り組  
 み(総務省)を見聞しました。



## 民生 常任委員会

長川村よしと 副まつお正秀  
 江良健太郎 大川原成彦  
 かみたにゆみ 河崎はじめ  
 松田 茂 八木米太郎

本年度の施策研究テーマとな  
 った「食肉センターの課題と展  
 望について」「ごみの減量化につ  
 いて」の2件について、10月23  
 日〜24日に管外視察(四日市市、  
 さいたま市、船橋市)に伺いま  
 した。その後の委員会では、視  
 察で学んだことを中心に本市の  
 担当部局にヒアリングし、委員  
 間の意見交換という形で研究を  
 進めています。

### ▽食肉センターの課題と展望に ついて

本市と同規模の施設がある四  
 日市市を視察しました。食肉セ  
 ンターは、畜産業の基幹施設と  
 して必要不可欠ですが、運営経

常任委員会は、市の事務の調査や、議案・請願  
 の審査のために設置されている常設の委員会です。  
 西宮市議会には5つの常任委員会があり、議長  
 以外の全議員がいずれかに所属しています。

費や更新費用の負担については  
 大きな課題となっています。四  
 日市市の場合、三重県内には食  
 肉センターが2施設しかないこ  
 とから、相互補完する意味でも  
 市が補助を続けて存続させると  
 という方向性でした。本市におい  
 ては、いずれやってくる施設の  
 更新時期を見据え、兵庫県内での  
 役割や市の関わり方について  
 調査・研究を行っていきます。

### ▽ごみの減量化について

さいたま市、船橋市を視察し、  
 事業系ごみの減量化や、指定ご  
 み袋について学びました。減量  
 化のための施策はさまざまです  
 が、事業者への周知徹底などを  
 進める一方で、自由にごみ袋を  
 選べる現在の方式(全国の中核  
 市では西宮市のみ)を改める必  
 要があるということで委員間で  
 も認識は一致しています。全国  
 で初めて環境学習都市宣言をし  
 た西宮だからこそ積極的な施策  
 を実行すべきだと考えています。



## 健康福祉 常任委員会

長うえだあつし 副宮本かずなり  
 一色 風子 大迫純司郎  
 大原 智 佐藤みち子  
 田中 正剛 谷本 豊

■管外視察(10/30〜11/1)  
 ①藤枝市では厚労省「健康寿  
 命をのばそう」アワード優良  
 賞を受賞した『ふじえだプロ  
 ジェクト』を視察しました。

幅広い世代の方を対象にしつ  
 つ参加率の向上を図るため  
 に「楽しい・お得」をキーワー  
 ドに、地域の観光や商業の活力  
 アップにもつながるように設計  
 された取り組みでした。

### ②江東区では介護予防・日常 生活支援総合事業のうちの通所 型サービスBに当たる『ご近所 ミニデイ』を視察しました。

これは地域住民が主体となっ  
 て運営する通いの場で、担い手

今号では「施策研究テーマ」や「管外視察(市内)・  
 管外視察(市外)」について掲載しています。  
 長 委員長 副 副委員長  
 (記事は1月17日時点)

である運営主体に対して補助金を含めた支援を行う取り組みでした。

③幸手市では『地域包括ケアシステム(幸手モデル)』を視察しました。

幸手モデルでは、地域包括ケアシステムを形式的な制度として捉えるのではなく、その本質として「生きる事の苦しみをひとりで抱え込む、という苦しみを終わりにする」ためのシステムとして、コミュニティソーシャルケアワーカー(CSSCWs)が中心となった取り組みをしています。本質を明確に示すことが「担い手」不足を解消する上で重要であると確認できました。

④八王子市では『住民主体による訪問型サービス』を視察しました。各地区にすでに存在する住民同士で助け合う自主的な活動を支え、育てる取り組みでした。「担い手」を育てることの大切さを確認できました。

### 教育(こども) 常任委員会

- 園山口 英治 副脇田のりかず
- 菅野 雅一 田中あきよ
- 花岡ゆたか ひぐち光冬
- 町田 博喜 吉井 竜一

本年度の施策研究テーマについて調査・研究するため、次とおり視察しました。

#### ■管内視察(10/28)

適応指導教室「あすなる学級なるおきた」あすなる学級みらい」では、活動状況の調査や施設見学を行いました。市立南甲子園小学校では、子供の居場所づくり事業を活用したICT教育の取り組みについて視察しました。どちらも当局から説明を受け、質疑応答を行いました。

#### ■管外視察(10/30、11/1)

▽不登校対策について 大分県では、不登校児童生徒支援プランの取り組みについて

説明を受け、質疑応答を行いました。

呉市では、広島県が設置する

校内適応指導教室について説明を受け、市立吉浦中学校で開設されている校内適応指導教室を見学し、質疑応答を行いました。

#### ▽ICT教育について

福岡市では市立早良小学校を、佐賀県では中高一貫教育校である県立香楠中学校・鳥栖高等学校を訪問。両校とも、学校での取り組み等について説明を受け、ICT機器を活用した授業を見学し、質疑応答を行いました。

#### ▽義務教育学校について

本市初の義務教育学校となる市立総合教育センター付属西宮浜義務教育学校が本年4月に開校するにあたり、先進事例である大分市立碩田学園を訪問し、施設見学等を行いました。

今回、施設等の現地を中心に視察し感じた課題や今後取り組むべきことを市に提言しました。

### 建設 常任委員会

- 園松山かつり 副よつや 薫
- 岩下 彰 河本 圭司
- 草加 智清 坂上 明
- 多田 裕 八代 毅利

本委員会では、他自治体の先進的な取り組みを調査・研究するため管外視察を行いました。

#### ■管外視察(11/11、11/13)

#### ▽一人一花運動について(福岡市)

この運動は市や市民の他に、企業の協賛からなるスポンサー花壇などを取り入れた施策です。「おもてなしの景観」にもなる市長のトップダウン政策です。

#### ▽バスの利用促進について(大分市)

乗合タクシー「ふれあい交通」では公共交通不便地域の解消施策として、地域住民が主体的に取り組み、それを市がバス・タ

クシー事業者と調整する仕組みになっており、本市の課題を考える上で参考になりました。

#### ▽延岡駅周辺整備事業について(延岡市)

この事業では、市民参加のワークショップで市民活動の要望を吸い上げ、計画に反映させました。市民活動のステージとして駅前複合施設「エンクロス」を整備し日常的なぎわいの創出などの成果をもたらしました。

#### ▽コミュニティタクシーについて(倉敷市)

この制度は「地域がつくる公共交通」として、地域住民が利用者の確保・利用促進に努めなければならぬとされています。地域によっては、制度の導入自体が高いハードルとなっているなどの課題も学びました。

#### ■管内視察

本年2月に鳴尾・武庫川女子大前駅の高架下の空間活用について、管内視察を行う予定です。



### 3月定例会の開催予定

2月	
19(水)	本会議 施政方針、提案説明
26(水)	本会議 代表質問
27(木)	本会議 一般質問
3月	
2(月)	本会議 一般質問
3(火)	本会議 一般質問、質疑など
4(水)	予算特別委員会(全体会)
6(金)	常任委員会
9(月)	常任委員会
10(火)	常任委員会
11(水)	常任委員会
12(木)	常任委員会
13(金)	予算特別委員会(分科会)
16(月)	予算特別委員会(分科会)
17(火)	予算特別委員会(分科会)
23(月)	予算特別委員会(全体会)
24(火)	本会議 採決など
24(火)	予備日

開催予定時刻は午前10時です。日程は変更される場合があります。



議案等審議結果一覧表

(令和元年12月定例会)

全会一致で可決されたもの

Table with 4 columns: 市長提出 (新規定, 一部改正, 廃止, 訂正), 予算, 一般案件, 人事, 議員意見書. Content includes regulations on accommodation, staff, and budget items.

表決態度が分かれたもの

(○賛成、×反対)

Large table showing voting results for various cases. Columns include party names (e.g., 政新会, 公明党) and individual council members. Rows list specific cases like 'Regulation (Part 2 Amendment)' and 'Budget'.

採決結果の○は、提出された議案などが賛成多数で可決されたことを、×は否決されたことを示しています。〔「退場」とは、採決に参加しなかったことを示しています。〕
※1 市民交流センター条例／市立地区市民館条例／市立船坂里山学校条例／市立芦乃湯会館条例／市立若竹生活文化会館条例／男女共同参画センター条例／勤労福祉センター条例／勤労者・障害者教養文化体育施設条例／市民ホール条例／市立ギャラリー条例／運動施設条例／学校施設使用料条例／市立郷土資料館条例／市立公民館条例／市立山東自然の家条例／市民憩の家条例
※2 一般会計(第4号)／特別会計〔国民健康保険(第3号)／農業共済事業(第2号)／中小企業勤労者福祉共済事業(第2号)／介護保険(第3号)／後期高齢者医療事業(第2号)〕／水道事業会計(第2号)／工業用水道事業会計(第2号)／下水道事業会計(第3号)
※3 指定管理者指定(市民交流センター、市立鳴尾北留守家庭児童育成センターほか1施設、市立高木留守家庭児童育成センターほか2施設、市立高木北地域子育て支援施設、自転車駐車場)
※4 指定管理者指定(市立大箇市民館ほか20施設) … 濑谷祐介議員は地方自治法第117条の規定により除外のため審議には参加していません。
※5 指定管理者指定(市立瓦林留守家庭児童育成センターほか2施設、市立津門留守家庭児童育成センターほか1施設、市立用海留守家庭児童育成センターほか1施設、市立平木留守家庭児童育成センター、市立塩瀬児童センターほか1施設)

大学生が市議会<sup>で</sup>研究報告

議員が講評

# バーチャル市議会

～関学編～を開催しました。

開催 令和元年11月23日(土)

令和元年11月23日(土)、関西学院大学経済学部の上村敏之<sup>うえむらとしゆき</sup>ゼミと西宮市議会は市議会本会議場で「バーチャル市議会～関学編～」を開催。ゼミ生19人(3年生)が西宮市の事務事業(計23事業)に対し、研究報告のプレゼンテーションを行い、延べ21人の議員が学生の提案などに対し1事業ごとに講評を行いました。

## ◆ゼミ生が市の事業を分析・評価

ゼミ生は、この日のために事務事業の担当課への直接取材や他市の状況を調査するなど各自で情報収集。市の「事務事業評価シート」をもとに事務事業の有効性・効率性について分析・評価しました。



上村敏之教授(右端)



ゼミ生のプレゼンテーション

## ◆提案等について議員が講評

ゼミ生の発表では、事業の目的が達成されているかを計る新たな指標の提案や、事業費の推移から発見した課題など具体的な提言が行われました。これに対し、議員からは発表者への質疑や調査する上でのアドバイスを交え各事業への講評を行いました。



当局席で講評する議員

## ◆研究報告一覧

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1 市政ニュース等情報発信事業    | 13 生活困窮者自立支援事業        |
| 2 ふるさと納税推進事業       | 14 留守家庭児童育成センター管理運営事業 |
| 3 外国人入居啓発事業        | 15 ファミリーサポートセンター事業    |
| 4 国際交流協会補助事業       | 16 生物多様性推進事業          |
| 5 有害鳥獣及び外来生物捕獲等事業  | 17 ごみ減量等推進事業          |
| 6 農業体験推進事業         | 18 公衆便所清掃等維持管理事業      |
| 7 地域商業活性化対策事業      | 19 自転車対策事業            |
| 8 都市ブランド発信事業       | 20 救急活動業務             |
| 9 男女共同参画センター管理運営事業 | 21 学校体育推進事業           |
| 10 地域スポーツ推進事業      | 22 基礎学力向上事業           |
| 11 市民祭り補助事業        | 23 公民館管理運営事業          |
| 12 運動施設管理運営事業      |                       |



上村ゼミの皆さん

◆当日の様子は、市議会インターネット中継でご覧いただけます。



西宮市議会だより 第142号

令和2年(2020年)2月10日発行(年4回発行)

発行:西宮市議会 編集:広報委員会

〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号 TEL:0798-35-3370

議会情報は、市議会ホームページへ

<https://www.nishi.or.jp/nishinomiyaishigikai/>

